



パテック フィリップ ジュネーブ

2014年3月

バーゼルワールドの新しいパテック フィリップ展示ブース： 先端的技术と時を超越したエレガンスを体現した光溢れるパビリオン

パテック フィリップは、バーゼルワールド2014において、ブランドの価値を力強く表現した、独自性と機能性にあふれ、未来的な、新しい展示ブースを発表する。透明で光に溢れ、現代的で時を超越したこの新しいブースは、1999年に初めてベールを脱いだ昨年までのブースに取って代わる。外壁ショーケースにパテック フィリップの現行コレクションすべてを展示し、マニファクチュールパテック フィリップの開かれたコミュニケーションを強調している。革新的なデザインは、確固たる伝統と革新の融合を完璧に体現している。

世界最大の時計宝飾展、バーゼルワールドを舞台にした輝かしい宝石箱ともいべき新しい展示ブースは、創業以来パテック フィリップが守り続けてきた価値を体現するとともに、そのあまねく知られた独立性を高らかに表明するものである。技術革新、伝統、機能性を融合し、巨大なガラス構造の透明性に立脚したそのデザイン・コンセプトは、外に向かってはパテック フィリップのタイムピースが持つ時を超越した美しさを、内においては熱気溢れるマニファクチュールの活動のすべてを余すところなく示すことができる。

パテック フィリップの世界を光り輝く巨大なガラス構造によって表現する新しいブースは、エレガントで機能的な理想的環境の中でタイムピースの展示、顧客やプレスとの交流や会議を行うことを可能にしている。

スペースが増した、光溢れる展示ブース

2014年のバーゼルワールドにおいて、パテック フィリップの新しいブースの位置は従来通り（バーゼル見本市会場 Hall 1）である。しかし建坪は630 m²、総床面積は従来の955 m²から1,500 m²へと大幅に増大し、高さは3階建てである。新しいブースには、16の外壁ショーケース、12の商談室、数室の会議室、厨房、バー、レストラン、技術室、ストレージ・ルームなど、多数の機能的なスペースが設けられている。

時を超越したデザインは、ブース前部の展示およびウェルカム・エリアにおいては革新を体現し、奥まったオフィスおよびサービス・エリアにおいては伝統を体現している。前部エリアでは顧客や訪問者を迎えるフレンドリーで魅力的な雰囲気を演出し、奥まったエリアは実質的な業務や会議のための機能的な空間となっているのである。

建築家オッタヴィオ・ディ・ブラシ氏がパビリオンのベースとなる素材として選んだのはガラスとスチールであった。117枚のガラスのエレメント（合計重量70トン）が、合計重量125トンのスチール製の枠組みによって支えられ、総面積600 m²のガラス製ファサードを形成している。このガラス製ファサードには合計16個の外壁ショーケースが設けられている。パビリオン内部の中央構造は、照明された総面積400 m²のコーリアン（メタクリル人工大理石Corian®）が全面をおおっている。さらに全長5 kmにおよぶLED照明の帯が、建物を光溢れるパビリオンに変身させている。

品質と精緻な仕上がり

新しい展示ブースは、ジュネーブの時計マニファクチュール、パテック フィリップの価値のひとつである品質と精緻な仕上がりを、多くの面で体現している。たとえば半透明のカーブした内壁は、全長5 km以上におよぶ革の帯によって手作業で組み立てられている。パテック フィリップのタイムピースにも例えられるこの驚異的な構造物の製作には、建築家とエンジニアによる2年以上の共同作業が必要であった。高度な形状を持つガラス製の構造物は、スチールのエレメントを最小限に抑えるよう、細心の配慮を込めて設計されている。こうしてこの革新的な展示ブースは、



《報道資料》 ページ 2

テクノロジーの限界を究めることにより未曾有の透明性を実現することに成功している。

ブースの内部装飾はきわめて温かくフレンドリーであり、数多くの訪問者を魅了し、感動を与えるものとなっている。各ルームの内装デザインは、パテック フィリップのブティック&コーナーのコンセプトに準拠している。来場者が見ることのできる外壁ショーケースには、2014年のニューモデルを中心に、パテック フィリップの現行コレクションすべて（198モデル）が展示されており、見る者を驚かせる。また50種類のパテック フィリップ・ムーブメントが展示された革新的なショーケースは、ディスプレイに各々のムーブメントの詳細な解説が映し出されている。さらにニューモデルとマニュファクチュールパテック フィリップを紹介するヴィジュアルとフィルムは、高級タイムピースの愛好家にとって興味尽きないものであろう。

またブース内の広さ35㎡の特別スペースでは、パテック フィリップの名声を比類のないものにして、《希少なハンドクラフト》により装飾された2014年ニューモデルとユニークピースが展示されている。また写真とビデオにより、パテック フィリップにおける希少なハンドクラフトの技術が解説されている。

最先端を行くパテック フィリップのコミュニケーション・テクノロジー

パテック フィリップの新しい展示ブースは、ハイクオリティなデジタル情報のインタラクティブで広く迅速な公開を可能にするため、巨大な外部スクリーンとこれに連結された多数のディスプレイやタブレットなど、コミュニケーション・テクノロジーにおける最新の成果を採り入れている。これらの機器により、希少なハンドクラフトの技術に関する資料、製品情報、ユニークピース、タイムピースのムーブメントやケースの品質、キャリアの多様性などの情報を即時に参照することができる。

2014年の今年、創業175周年を迎えるパテック フィリップは、創業以来の価値を象徴する新しい展示ブースによって、世界最大の時計宝飾展、バーゼルワールドに参加する。パテック フィリップは1931年以来、バーゼルワールドに継続して出展してきた。





バーゼルワールド2014におけるパテック フィリップの新しい展示ブース— Hall 1 Stand D11

設 計：Ottavio Di Blasi & Partners - Milan

施 工：Expomobilia AG - Zurich

目 標

ブランドの創業以来の価値を象徴し、現代的でしかも時を超越した環境の中で製品を展示し、機能的で伝統的なワークスペースを提供できるような、革新性と機能性にあふれ、未来的な展示ブースを実現する。

コンセプト / デザイン

イギリスの邸宅の温室からインスピレーションを得た透明なガラスの建物。エレガントで魅惑的な、テクノロジーと建築の限界を究める空中に浮かんだ光り輝く構造物。真に稀少なオブジェを展示し、護るための巨大な宝石箱を創造する。

面 積

建 坪：630 m² (2014年)、570 m² (2013年)

総床面積：1,500 m² (2014年)、955 m² (2013年)

構 成

3階建ての建物は、前部がパブリック・スペース、奥まった部分がプライベート・スペースである。

- 1 レセプション、クローク、ストレージ・ルーム
- 12 商談室 (16～30m²)、上層階
- 3 プレス・ルーム (15～18m²)、2階
- 16 外壁ショーケース、タイムピース (125点)、ムーブメント (50個) を展示
- 1 希少なハンドクラフトのための特別スペース (35m²)
- 1 視聴覚設備付会議室 (20～50人収容)、1階
- 2 会議室
- 3 オフィス
- 1 スタッフ用レストラン
- 1 バー
- 3 厨房

資 材

- 117枚のガラスのエレメント (合計重量70トン) が総面積600 m²のガラス製ファサードを形成
- 125トンのスチール製枠組み
- 5 kmにおよぶLED照明の帯が400m²のコーリアン (メタクリル人工大理石Corian®) による中央構造を照明
- 5 km以上におよぶ革の帯によって半透明のカーブした内壁を組み立て
- フレックト・メイプル、ローズウッド、ブロンズ仕上げの真鍮による各ルームの内装